

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立総合老人福祉センター	施設所管課	福祉局 高齢介護課
施設住所	尼崎市東灘波町4-9-25	竣工	S58.6(築39年)
設置目的	高齢者に対して生活相談等、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって高齢者に健康で明るい生活を営んでもらえることを目的とする。		
主な事業内容	高齢者の福祉の向上、社会参加の促進を図る。		
指定管理者名	社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会	指定期間	自 H31.4.1 至 R6.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策的に合った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<ul style="list-style-type: none"> ■専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ■効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長 ■その他(高齢者が健康で明るい生活を営むため、介護予防や社会参加の支援拠点として) 充実させること。

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
施設の利用者の高い利用満足度

実施結果

11月に行っている利用者アンケートについて、利用満足度を測り、おおむね高い満足度が得られている(指標①)

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：各講座に係る利用者満足度(単位:%)												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%				
実績	88%	88%	88%	89%	88%	85%	85%					
達成度	110%	110%	110%	111%	110%	106%	106%					
評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
指標②：施設利用者数(単位:千人)												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	40	40	40	40	40	40	40	40				
実績	49	47	45	41	16	26	28					
達成度	123%	118%	113%	103%	40%	65%	70%					
評価	◎	◎	◎	◎	△	△	△					

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
高齢者に対して生活相談等、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、高齢者に健康で明るい生活を営んでもらう。

実施結果及び評価

各種生活相談や、健康増進・教養の向上・レクリエーションの事業を様々行い、また、市の事業の実施やフレイル予防にも取り組み、成果を上げている。 ○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
照明のLED化など節電等に努める。

実施結果及び評価

講座での収益を充てるなどし、おおむねLED化に取り組み省エネ化に努めて、運営と環境への配慮をしている。 ○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとは言いえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況(単位:円)

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	46,963,000	46,963,000	0	人件費	28,806,000	17,371,400	11,434,600
				事業費	477,000	477,000	0
				施設維持管理運営費	16,474,000	16,997,607	-523,607
				その他	1,206,000	644,393	561,607
収入計	46,963,000	46,963,000	0	支出計	46,963,000	35,490,400	11,472,600

有効性

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	センターの特性を十分に理解し、施設の管理運営と事業業務を一体的に実施できる能力とともに、高齢者福祉に対する十分な知識に加え、健康づくりや介護予防等の推進に向けて、高齢者の多様なニーズに沿った各種サービスを安定的かつ継続的に実施できる能力を有していること。
指定管理者自身が設定した目標	利用者が、安心・安全に利用でき、健康増進や教養の向上を図れる、地域に開けた施設となるよう努める。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	幅広い高齢者が気軽に立ち寄れる施設となる。					
目標	各講座に係る利用者満足度(単位:%)					
指定期間	R1	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価
目標値	80%	80%	80%	80%	80%	職員にもよくしてもらい楽しく利用できたとお
実績値	89%	88%	85%	85%		おむね高い満足度を得ることができた。

有効性	法令遵守	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
		貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
		公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
		個人情報保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
		公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
		施設の経営状況	
		収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
		指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
		危機管理-事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
		災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正	
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正	
	履行状況-提案時及び年度当初の計画等のとおり業務を行ったか		
	年度事業計画書における計画どおり業務が遂行されたか	適正	
	選定時の提案内容が実施されているか	適正	
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	
パートナーシップ	関係性の構築	随時報告・連絡・相談を行う体制ができており、関係性は良好である。	
	協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)	新型コロナウイルス感染拡大防止については、市と指定管理者が様々な意見交換を行った結果、これまで施設でのクラスターは確認できず、安心して利用できる施設の目標を達成している。また、元気づくり工房など、市の取り組んでいるフレイル予防にも取り組み成果を上げている。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)	施設の老朽化が進んでおり、特にエレベーターは修理部品の調達も困難になってきている。これについては人命にかかわることもあるので、市と協議し何らかの方策を打つ必要がある。利用者の満足度については良好でスムーズな運営はできている。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)	利用者の満足度は高く、指定管理業務は良好に行われている。今後とも関係強化し利用者のサービス向上に努めていきたい。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)	利用者の健康増進・教養の向上と合わせ、地域の福祉力の向上にかかわる事業を今まで以上に増やしていき、高齢者であっても地域福祉の担い手となる人材の確保・育成をしていきたい。	

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立老人福祉センター(鶴の巣園、千代木園、福喜園、和楽園)	施設所管課	福祉局 高齢介護課
施設住所	尼崎市東園田町6-9-2 1ほか	竣工	S48.6ほか
設置目的	高齢者に対して生活相談等、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって高齢者に健康で明るい生活を営んでもらえることを目的とする。		
主な事業内容	高齢者の福祉の向上、社会参加の促進を図る		
指定管理者名	社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会	指定期間	自 H31.4.1 至 R6.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<ul style="list-style-type: none"> ■専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ■効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長 ■その他(介護予防・フレイル対策の推進などの観点から「運動」「栄養(食・口腔)」「社会参加」を中心に、特色ある老人福祉センターへ機能を充実させること。

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)												
今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定) 施設の利用者の高い利用満足度												
実施結果 11月に行っている利用者アンケートについて利用満足度を測り、おおむね高い満足度が得られている。(指標①)												
(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況												
有効性	指標①：各講座に係る利用者満足度(単位:%)											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%			
	実績	85%	84%	84%	85%	84%	86%	86%				
	達成度	106%	105%	105%	106%	105%	107%	107%				
	評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	指標②：園の利用者数(単位:千人)											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	250	250	250	250	250	250	250	250			
	実績	293	278	264	241	66	97	103				
達成度	117%	111%	106%	96%	26%	38%	41%					
評価	◎	◎	◎	△	△	△	△					

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

効率性	①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定) 高齢者に対して生活相談等、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって高齢者に健康で明るい生活を営んでもらえることを目的とする。	○
	実施結果及び評価 各種生活相談や、健康増進・教養の向上・レクリエーションの事業を様々行い、また、市の事業の実施やフレイル予防にも取り組み成果を上げている。	○
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)	
	②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定) 施設の廃止が決まっている福喜園・千代木園を除く施設の照明のLDE化など、節電等に努める。	○
	実施結果及び評価 部屋については講座での収益を充てるなどし、効率的な運営とおおむねLED化に取り組み、省エネ化に努めている。	○
	◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとは言いえない、×環境への配慮が不足している	
	(参考) 経費の状況(単位:円)	

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	154,656,000	154,656,000	0	人件費	102,336,000	50,140,200	52,195,800
				事業費	1,105,000	1,105,000	0
				施設維持管理運営費	49,812,000	32,727,775	17,084,225
				その他	1,403,000	1,967,778	-564,778
収入計	154,656,000	154,656,000	0	支出計	154,656,000	85,940,753	68,715,247

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	平成21年度から平成30年度の10年間を指定管理期間として、非公募で社協を指定管理者に指定してきた。この間、社協においては、4園の指定管理事業を円滑かつ安定的に実施してきており、今後も地域福祉の理念に基づき、老人福祉センターの設置目的である高齢者が健康で明るい生活を営むための管理運営と利用者への平等なサービスの提供を安定的に継続して達成することが見込まれる。
指定管理者自身が設定した目標	利用者が、安心・安全に利用でき、健康増進や教養の向上を図れる、地域に開けた施設となるよう努める。また、廃止される園の利用者に混乱が生じないように務める。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	幅広い高齢者が気軽に立ち寄れる施設となる。						
目標指標	指標	各講座に係る利用者満足度(単位:%)					
	指定期間	R1	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価
	目標値	80%	80%	80%	80%	80%	職員にもよくしてもらい楽しく利用できたとおおむね高い満足度を得ることができた。
	実績値	85%	84%	86%	86%		

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理-事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正	
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正	
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正	
履行状況-提案時及び年度当初の計画等のとりに業務を行ったか		
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正	
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	

パートナーシップ	関係性の構築	
	随時報告・連絡・相談を行う体制ができており、関係性は良好である。	
	協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)	
	新型コロナウイルス感染拡大防止については、市と指定管理者が様々な意見交換を行った結果、これまで施設でのクラスターは確認できず、安心して利用できる施設の目標を達成している。また、元気づくり工房など、市の取り組みでいるフレイル予防にも取り組み、成果を上げている。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)	
	福喜園・千代木園の2園の廃園が決定しており、この施設の利用者が新しい施設へスムーズに移行できるように努める必要がある。利用者の満足度については良好でスムーズな運営はできている。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)	
	利用者の満足は高く、指定管理業務は良好に行われている。今後とも関係強化し、利用者のサービス向上に努めていきたい。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)	
	利用者の健康増進・教養の向上と合わせ、地域の福祉力の向上にかかわる事業を今まで以上に増やしていき、高齢者であっても地域福祉の担い手となる人材の確保・育成をしていきたい。	